

事務事業名	シビックプライド醸成事業		担当	総合政策部 秘書広報課 シティプロモーション係	
政策名	6	「魅力づくり」～市民の力アップ！～	施策名	1	都市ブランド戦略の推進
成果指標	名称		単位	4 年度実績	
	中学生アンケート（住み続けたい）		%	45	
	市政の満足度		%	55.7	
	高校生アンケート（4年に1回）旧3年度（住み続けたい）		%	—	
事業概要	市民一人ひとりが本市に愛着や誇りを抱いてもらう「シビックプライドの醸成」を図ることで、移住定住促進やシティプロモーションの推進につながる。				
4 年度 実績・成果・課題	定住促進としては、低年齢から本市の魅力を伝える取組みが必要である。これまで、市の歴史や文化、支援制度などを中心に真岡の魅力を伝えてきたが、今後は、もっとトカイナカの良さを伝える内容を加えるとともに、移住者インタビューを掲載する等、真岡市で働くことをイメージできるよう周知内容を見直す必要がある。 また、本市が活力ある街であることが若者たちが本市に戻ろうとすることにつながることから、幅広い世代に対しシビックプライド醸成の取組みが必要である。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 「いちご王国栃木の首都もおか」の宣言に基づき、毎月15日を「いちごの日」として市庁舎周辺でPRを実施し日本一のいちごのまちであることの発信を強化するとともに、インスタグラムやツイッターで市民参加型の魅力発信を促すことで、市民に誇りと郷土愛を持ってもらうよう取り組む。				